お客様各位 1/2

平素は弊社商品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

この設定変更は内税部門から外税部門へ変更する操作方法を記載してあります。

お店の運用を内税登録から外税登録に変更する際はお客様ご自身にて設定変更していただくようご案内申し上げます。

尚、レジスターの『取扱説明書』にも本内容はすべて記載されていますので併せてご参照下さい。

【設定変更の流れ】

- 1. 鍵位置 < 精算 > で "日計精算"、"累計精算"を行います。
- 2. 鍵位置 < 精算 > で下記、設定変更を行います。
 - ①部門の税区分を変更します。(内税→外税に変更します。)
 - ②必要に応じてシステムオプションを変更します。
 - 内税の円未満端数処理選択

MA-12シリーズ、AR-120シリーズ

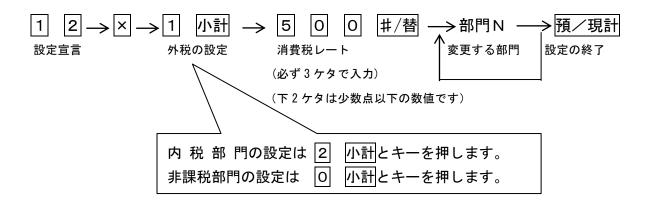
該当機種

MA-12シリーズ、AR-120

内税部門を外税部門に変更する設定操作

<使用する鍵>MAキー、<鍵の位置>精算

①部門の税区分を変更します。



(注)

- 1. 部門Nは設定変更する部門キーをそのまま押してください。
- 2. 消費税の端数処理はシステムオプションの端数処理で選択できます。

システムオプションを変更する操作

<使用する鍵>MAキー、<鍵の位置>精算

②システムオプションを変更します。

<設定操作>:

標準では税金の円未満の端数はく切り捨て>となっています。

例えば内税シンボルを印字し税金額の端数処理を切捨てにしたい場合は下記のように操作します。

<システムオプション内容>

アドレス	項目	オプションの内容	項目NOを	項目NOを
NO	NO		選択しない	選択する
2	1	税金額の端数処理	注	切上げ
	2	税金額の端数処理	\int	<切捨て>
	3	内税の印字シンボル	<印字>	無印字

注:両方選択しない場合は四捨五入になります。

両方選択した場合は切捨てになります。

く >は工場出荷時の設定です。

内税シンボルを印字し税金の端数処理を四捨五入にする場合は下記のように操作します。

$$\boxed{1} \quad \boxed{8} \rightarrow \boxed{X} \quad \rightarrow \quad \boxed{2} \qquad \rightarrow \boxed{\text{小計}} \quad \rightarrow \boxed{0} \quad \rightarrow \boxed{\#/ \mathbb{Q}} \quad \rightarrow \quad \boxed{3/2 \mathbb{Q}}$$